

籠もよ み籠持ち  
 掘串もよ み掘串持ち  
 この岳に 菜摘ます見  
 家聞かな 名告らさね  
 そらみつ 大和の国は  
 おしなべて われこそ居れ  
 しみなべて われこそ座せ  
 われこそは 告らぬ  
 家をも名をも

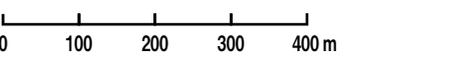
大和の杜より望む夕景 万葉集 卷1-1

# 大和国原を見はるかす 大神話の道へ 01

山の辺の道ルート (約6.1km) 桜井市

陸路も水路も交錯した交通の要・海柘榴市から石上神宮を過ぎ、木津川へと続く山の辺の道。中でも神の坐す三輪山の裾野を、大神神社の摂末社をつなぐよう巡るこのルートには、名高い歌が数多く残される。神話や伝承と美しく絡まった作品は、自然に満ちた上古の道にいにしえ人の喜怒哀楽を映し出す。込められた思いを胸に、彼らが見たであろう景色を探してみよう。

- JR・近鉄 桜井駅  
 ↓ 約1.9km (約38分)  
 1 海柘榴市  
 ↓ 約1.1km (約22分)  
 2 大神神社  
 ↓ 約0.3km (約6分)  
 3 大美和の杜  
 ↓ 約0.1km (約2分)  
 4 狭井川  
 ↓ 約1.3km (約26分)  
 5 檜原神社  
 ↓ 約1.4km (約28分)  
 影媛伝承 JR巻向駅



往く川の 過ぎにし人の 手折らねば  
 うらふれ立てり 三輪の檜原は (万7-1119)

いにしへに ありけむ人も わが如か  
 三輪の檜原に 挿頭折りけむ (万7-1118)

僕は 国の真秀るば  
 たななづし 黄壇  
 山籠れる 寝し麗し (古事記 中巻 景行天皇)

香具山と 耳梨山と あひし時  
 立ちて見に來し 印南国原 (万1-14)

香具山は 飲火ををしと  
 耳梨山は 相あらしひき  
 神代より かくにあるらし  
 古昔も 然にあれこそ  
 うつせも 瑞を  
 あらそふらしき (万1-13)

狭井河よ 雲立ち渡り 飲火山  
 木の葉さやぎぬ 風吹かむじす (古事記 中巻 神武天皇)

味酒 三輪の山  
 あをによし 奈良の山の  
 山の隙に い隙るまで  
 道の隈 い穉るまでに  
 つばらにも 見つつ行かむを  
 しげしばも 見放けむ山を  
 情なく 雲の 霞さふべしや  
 (万1-17)

三輪山を しかも霞すか 雲だにも  
 情あらなむ 霞さふべしや (万1-18)

此の神酒は  
 我が神酒ならず  
 倭なす 大物主の  
 醸みし神酒 (日本書紀 巻第5  
 幾久 幾久 崇神天皇6年12月)

たらねの 母が呼ぶ名を 申さめと  
 路行く人を 誰と知りてか (万12-3102)

家は 灰指すものぞ 海柘榴市の  
 八十の窟に 逢へる見や誰 (万12-3101)

※ウォーク中のけがや病気、事故等について発行者は一切の責任を負いかねます。  
 ※交通ルールを遵守し、道路管理者等の指示に必ず従うと共に、各自の体力や時間に応じてご自分の責任で安全にウォークをお楽しみください。  
 ※記載の情報は2011年2月現在のものです。諸般の事情で現在のルート、スポットの様子が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
 ※各施設への見学等は事前の確認をお願いします。  
 (C) Nara Prefecture All Rights Reserved. 各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。  
 発行：奈良県 【桜井市の観光に関するお問い合わせ】桜井市観光協会 TEL:0744-42-9111

スタート JR・近鉄 桜井駅